

令和6年度 学校評価（自己評価）

教育方針	ア 安全・安心で規律ある学校づくり
	イ 基礎学力を身につけ、学び続ける意欲・態度を醸成する学校づくり
	ウ 美しい学習環境のもと、明るく活気ある学校づくり
	エ 地域社会に開かれ、地域に貢献する学校づくり

重点目標	異年齢交流や体験活動を生かした人間関係づくりとコミュニケーション能力の向上
	ア 異年齢・異文化交流や体験活動を通して、尊重し合う意識や自己有用感を高め、地域に主体的に関わる態度を育む。
	イ 海外教育機関等との連携や交流を積極的に進め、生徒のコミュニケーション能力を高め、異なる文化や価値観への理解に繋げる。また、それらの体験を自国や自らを振り返る契機とすることで、多様性が加速する現代社会への対応力を高める。
	ウ 地域の方々や施設等との連携を密にし、地域に開かれた、地域と協働して教育活動を展開する学校づくりを図る。
	エ 全ての教職員が教育目標や課題を共有した上で、協働して教育活動を展開し、生徒一人一人を育てる学校づくりを進める。

				評価	
領域	評価の観点	評価項目	評価内容	10月	2月
学校運営	開かれた学校づくり	情報の発信	「夢高ドリームニュース」を定期的に発行し、地元の中学校や地域に配付している。	3.8	3.9
			ホームページの更新を迅速に行い、学校生活の様子を伝えている。	3.7	3.9
		外部意見の聴取	各学期ごとの評議委員会にて意見聴取を行い、学校経営に活かしている。	3.4	3.3
	生徒指導	基本的な生活習慣	毎朝立ち番指導を行い、身だしなみや挨拶など社会人として必要な言動を身に付けさせている。	3.1	2.9
			交通安全教育を通して交通ルールの遵守と命を守る意識を高めている。	3.1	2.9
		生徒理解	面談および年6回の生活アンケートを実施し、生徒の内面理解を図っている。	3.6	3.5
		年度当初及び各学期毎に生徒の情報を共有して、組織的な指導を行っている。	3.5	3.6	
	進路指導	進路指導体制	進路指導が、職員間の連携を密にしながら組織的に展開されている。	3.1	2.9
		主体的な進路選択能力	定期的な進路ガイダンスや講演会の実施を通して、進路意識の高揚を図っている。	3.5	3.6
			就職希望者のインターンシップ参加や進学希望者のオープンキャンパス参加を通して、職業観や進学意識を育てている。	3.6	3.6
	教職員の資質向上	実践的指導力	生徒や授業公開による授業評価を授業改善に生かしている。	3.1	2.8
		計画的な研修	学校や教育に関する諸課題について、校内研修を計画的に実施している。	3.0	2.6
	危機管理体制の整備	防災体制	年度当初に警備および防災計画の見直しを行い、また危機管理マニュアルを必要に応じて改訂している。	3.3	2.9
学校経営全般	1 学年	生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう、定期的な面談や声掛けを実施し、生徒理解に努めている。 生徒が進路を見据えて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、校則・マナーの遵守をできるよう指導している。	3.3	3.3	
		2 学年	個人面談や日々の声掛けを通じて、時、場所、状況に応じた発言や行動ができるコミュニケーション能力の向上を促す。 週末課題や小テストの実施を実施し、学力の向上を図りながら、インターンシップやオープンキャンパスへの参加およびその内容をまとめて発表することで進路目標を明確に持たせる。 総合的な探求の時間を通じて、地域貢献や台湾をテーマに調べ学習を行い、実践し、発表することで地域に貢献する力や異文化への関心を高める。	3.3	3.3
		3 学年	進路目標達成のために主体的に学習に励み、進路希望の実現に向けて努力する生徒の育成に努めている。 最高学年として、本校で学び卒業することを誇りに感じられる生徒の育成に努めている。	3.1	2.9
	校務分掌	各分掌や学年が相互に協力し合って全ての重点目標の達成に向けて前向きに取り組んでいる。	3.1	3.1	
教育課程	確かな学力の育成	基礎基本の定着	わかる授業をねらいとして、授業づくりの工夫を行っている。	3.4	3.5
			週末課題の設定など、生徒に学習習慣を定着させるようにしている。	3.3	3.3
		評価の工夫	評価について教科会議等で意見交換を行うなど、基準や方法を工夫している。	3.2	3.1
		指導方法の工夫	習熟度別や少人数制、ICT機器の活用など、授業形態を工夫している。	3.4	3.5
	読書活動の推進	図書館の利用促進やビブリオバトルなど、生徒の読書活動を活性化させている。	2.9	2.7	
	特別活動等	主体的な活動	講演会を企画・実施し、部活動や生徒会活動の活性化を図り、生徒の主体性を育てている。	3.1	3.1
		学校行事	入学式、卒業式、記念式典、各学期ごとの始業式、終業式を円滑かつ安全に実施している。	3.5	3.6
体験活動		地域との交流や異年齢交流、台湾とのオンライン交流等を通して、生徒の視野の拡大やコミュニケーション力の向上を図っている。	3.5	3.5	
課題教育等	防災教育	防災訓練	9月に地震対策のシェイクアウト訓練、12月に防火避難訓練をそれぞれ実施し、防災意識を高めている。	3.6	3.7
	安全教育	教職員の意識と技術	定期的な安全点検および学校薬剤師と連携した環境衛生検査の実施を行い、安全な教育環境を整えている。 心肺蘇生法講習会を実施し、職員のAED活用力を高めている。	3.5	3.7
	人権教育	組織的な指導	3月に人権映画鑑賞会を実施し、人権意識の高揚を図っている。	3.2	3.2
	情報教育	情報モラル	講演会を実施してSNSなどのIT技術を活用する上での影響や危険性について理解させ、モラルと意識を高めている。	3.2	3.3
	健康教育	健康への関心	健康課題のある生徒に対して、各部・各学年と連携した生徒支援に取り組んでいる。 ほけんだよりを発行し、健康に関する最新の情報を発信している。	3.5	3.6
	特別支援教育	生徒の理解	カウンセリングマインド研修を実施し、生徒の内面の理解に基づいた対応につながるよう教職員の生徒指導上の資質の向上を図っている。	3.5	3.5
	主権者教育	主体的な活動	講演会などを通じて生徒会や学級活動を活性化させ、生徒の自立意識を高めている。	3.1	2.8
清掃指導	校内美化	生徒会活動を活性化することで、生徒自らが学習環境を美しくする意識を高めている。	2.8	2.6	

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない